



- 宇部興産物語
- 環境安全部だより
- 工場探訪
- 渡邊祐策の魅力に迫る
- 地域の顔
- 社会貢献(チャリティーコンサート)
- 社員登場
- クラブ紹介
- おしらせ

探索中 at UBEアイプラザ ロボくん



発行：宇部興産株式会社

〒755-8633 山口県宇部市大字小串1978-96 宇部渉外部 (電話0836-31-2111)

環境安全部だより

メガソーラー発電所に見学にお越し下さい

国道190号線から宇部湾岸道路(宇部スカイロード) 西本町ランプを登った先、世界的にも珍しいS字型曲線斜張橋を渡ると、静かな瀬戸内海と自然豊かな厚東川に囲まれた広大な敷地にメガソーラー発電所が設置されているのが見えます。

この太陽光発電所は弊社と昭和シエール石油が50%ずつ出資して設立したユースパワー株式会社(株)が運営しており、2014年7月に運用を開始しました。太陽電池は山口県内最大の21MWを超える出力を誇ります。年間発電量は一般家庭の6900世帯分の電気使用量に相当する2500万kWhに達し、年間8300トンもの二酸化炭素排出量を削減できる計算になります。

発電所の敷地面積は恩田運動公園全体の3倍に相当する約30万平方メートルもあり、ここに13万3千枚の太陽電池が敷き詰められています。全ての太陽電池を点検するためには40kmもの距離を歩くことになるほど広大な発電所ですが、遠隔監視による自動運転で効率化を図っています。

ですが、安全・安定した運転のために熟練した作業員による点検や電気機器の保守作業も欠かしていません。悩みのタネは敷地内に生える雑草です。放置すれば人の背丈ほどにも茂り、太



かなたに本誌第4号で紹介したコールセンター(正面)と興産大橋(右手)を臨むユースパワー(株)メガソーラー発電所

陽電池に影を作ってしまうのですが、農業は使わず、人手による定期的な除草作業によって高い発電効率を保っています。

発電所入口には緩やかなスロープを備えた展望デッキを設置し、整然と並ぶ太陽電池群と厚東川河口に架かる興産大橋の雄大な景色を眺めることができます。太陽電池パネルの模型と設備概要、現在の発電量等を示すパネルも展示しています。平日及び休日の9:00~16:30の間は自由に見学して頂けるよう、一般開放しておりますので、山口県内最大出力のメガソーラーを是非ご体感ください。

写真で振り返る「宇部興産物語」

総延長31.94km「宇部興産専用道路」



この写真は、1975年に全面開通した当時の「宇部興産専用道路」で、船木インターチェンジ付近になります。伊佐の良質な石灰石を宇部のセメント工場に運ぶために建設されました。この物流手段については、ベルトコンベヤーや鉄道も検討されていましたが、中安社長(当時)が「100年先までを想定した」と道路案を選択。その建設コスト高から、社内外から異論はあったものの、多目的に利用でき美祿地区の地域振興にも寄与できるとして、その意思を貫きました。建設の具体化から約8年後、総工費200億円、総延長31.94kmの日本で一番長い私道が誕生しました。



開通当初は、一両の大型トレーラー。1985年からはトリプルトレーラーにて運行。車両維持や道路補修の面から、今はダブルトレーラーを走らせています。

工場探訪

宇部藤曲工場



宇部地区工場群

沿革
1969年 宇部アンモニア工業(株) (現：有限会社) 設立
1984年 石炭ガス化設備完成
2013年 宇部興産(株)宇部藤曲工場設立、宇部アンモニア工業(株)が宇部興産(株)に工場運営を委託

工場概要
敷地面積：170,000㎡
従業員数：97名 (2014年9月末日現在)

第5回目は、世界初の大型石炭ガス化プラントがある宇部藤曲工場を紹介いたします。当工場は1969年に設立された宇部アンモニア工業(株)の工場運営を宇部興産(株)が2013年10月に受託し、設立されました。主要製品はアンモニアで、ナイロン原料(カプロラクタム)や肥料の原料として用いられます。海外の技術をベースに独自の改良を加えた、他に類を見ないプロセスである「石炭ガス化」方式を採用しており、生産量は日本一を誇っています。

石炭ガス化設備による生産から30年の今年10月、アンモニアの累計生産量は1,000万トンを達成しました。

環境・安全への取り組み

私どもは安全の確保を最優先に、社員と協力会社が一体となって安全衛生、環境保全、防災に取り組み、永続的な競争力を有した「世界に誇れる工場」を目指しています。

保安防災活動

計画的な老朽設備の更新、耐震診断や大地震でも耐えられる耐震補強等保安防災にも注力しています。

また、災害の被害最小化のために定期的に防災訓練を実施するとともに、防災設備の充実を図っています。

労働災害防止

労働災害が発生しない働きやすい安全・安心な工場を目指してリスクアセスメントを実施、危険な作業を撲滅しています。社員および協力会社の安全体感教育やKY(危険予知)活動等を通して、安全意識・感性の向上を図っています。

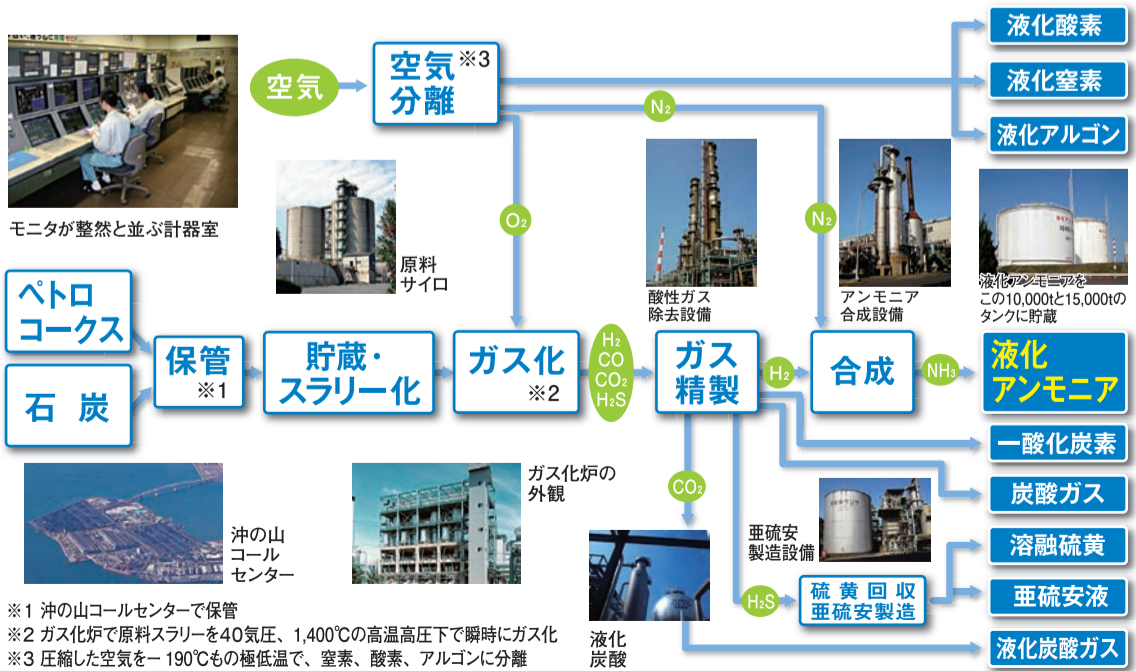


「液化炭酸製造設備」年間約8万トンのCO2を削減

環境保全活動

2013年8月に工場が発生するCO2の回収設備を増強。環境

アンモニアのできるまで



トピックス

地域に役立つ様々な活動紹介

- ① 消防操法競技大会 宇部山陽小野田防災協会主催の消防操法競技大会に毎年出場し、近隣企業と消火活動の正確さ・速さを競い合いながら地域の保安防災に役立つよう消火技術の向上を図っています。大会では毎年優秀な成績を収めています。
- ② 記念植樹 工場緑化運動の一環として、毎年1本ずつ木を植えています。緑の多い、親しみやすい工場を目指しています。



記念植樹の「金柑の木」

工場長メッセージ

皆さんこんにちは。私たちが宇部藤曲工場は、アンモニアを中核とする製品を安定的に生産し、世界に誇れる工場をめざしています。今年の最大の目標は、4つの安全項目(労働安全・設備安全・環境安全・品質安全)のゼロ災害の達成と更なる生産性向上です。100人の少数精鋭の工場ですが、しっかりとお互いに挨拶し、声をかけあっている職場づくりに努め、みんなで意識を高め地域の皆様が安心していただける工場を目指します。



宇部藤曲工場工場長・三浦英恒